

八千代市第6期障害福祉計画 数値目標  
PDCA サイクル管理シート

数値目標 (3)	福祉施設から一般就労への移行等
----------	-----------------

計 画 (P)  ↓  実 施 (D)	目標値	<p>【令和5年度末における目標】</p> <p>① 就労移行支援事業所等を通じて、令和5年度中に一般就労する者の数 53人〔元年度の一般就労への移行実績41人の1.27倍〕</p> <p style="padding-left: 20px;">＜サービス別＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援事業による一般就労移行者数 36人〔元年度の一般就労への移行実績27人の1.3倍〕</li> <li>・就労継続支援A型事業による一般就労移行者数 13人〔元年度の一般就労への移行実績10人の1.26倍〕</li> <li>・就労継続支援B型事業による一般就労移行者数 3人〔元年度の一般就労への移行実績2人の1.23倍〕</li> </ul> <p>② 一般就労する者のうち、就労定着支援事業を利用した割合 7割</p> <p>③ 就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合 7割以上</p>	
	実績値	<p>【令和3年度実績】</p> <p>① 一般就労した数 47人</p> <p style="padding-left: 20px;">＜サービス別＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援事業により一般就労した数 38人</li> <li>・就労継続支援A型事業により一般就労した数 4人</li> <li>・就労継続支援B型事業により一般就労した数 3人</li> </ul> <p>② 一般就労した者のうち、就労定着支援事業を利用した割合 約4割〔3年度の就労定着支援事業利用者数10人〕</p> <p>③ 就労定着率が8割以上の市内就労定着支援事業所の割合 約7割〔該当事業所数2か所〕</p>	<p>(備考)</p> <p>※ ①は各年度を通しての人数</p> <p>※ ②を算出する際の母数となる一般就労した数：26人 ⇒3年度中に一般就労に移行し就労を継続する期間が6か月経過した者</p> <p>※ 就労定着率：過去3年間の就労定着支援の総利用者数のうち前年度末時点の就労定着者数の割合</p> <p>※ 3年度末時点の市内就労定着支援事業所は3か所</p>

主な活動指標	区分		3年度	4年度	5年度
	就労移行支援 (実利用者数 人/月)	見込量	84	85	86
		実績値	75	—	—
	就労継続支援 (A型) (実利用者数 人/月)	見込量	62	64	65
		実績値	56	—	—
	就労継続支援 (B型) (実利用者数 人/月)	見込量	202	207	212
		実績値	142	—	—
※見込量及び実績値は各年度3月末時点の値					
内部評価 (C)			改善 (A)		
【目標等を踏まえた評価】			【次年度における取組み等】		
<p>令和3年度において一般就労した人数は、令和5年度の目標値より6人不足しています。サービス別に見た場合、就労移行支援又は就労継続支援B型を利用して一般就労した人数は目標値を達成しましたが、就労継続支援A型を利用して一般就労に繋がった人数が目標値を下回りました。また、一般就労した方のうち、就労定着支援事業を利用した割合は目標を下回っています。こちらも目標値に達しませんでした。</p> <p>なお、就労定着率については、目標値に近い数値の結果となりました。</p>			<p>一般就労者数の増加に向けて、相談支援事業所、基幹相談支援センター及び就労移行支援事業所等で連携強化を図り、施設利用者本人の意向を尊重しながら情報提供及び相談対応をします。</p>		